



スポーツ少年団だより

夢は諦めなければ叶う!

元女子バレーボールの大山加奈さん スポーツ少年団・学校交流会



平成23年度スポーツ少年団・学校交流会は、1月28日(土)稚内全日空ホテルを会場に、少年団指導者をはじめ、団員の父母、小中高校教職員のほか行政関係者などおよそ110人が集まって行われました。

前段では、コンサドーレ札幌専属の管理栄養士を勤める、小松信孝氏から、スポーツ活動に欠かすことのできない食事に関する講話がありました。これまでに、スポーツの活動前や活動中に摂取していたドリンクや食品が、実際には効果が無いといった、驚く事例が挙げられるなど、日々変化するスポーツ環境に驚かされました。

後段は、「私のバレーボール人生」と題して、「パワフル・カナ」のニックネームで活躍しながらも、怪我や腰痛で若くして引退した、元バレーボールの大山加奈さんの講演がありました。

小学二年生から始め、バレーボール一筋に過ごした中学・高校時代から日本バレーボールリーグ東レ・アローズ入団、そして全日本代表メンバーとして出場した世界選手権やアテネオリンピックでエースとして活躍した栄光の日々と、その後訪れた挫折などが赤裸々に述べられ、出席者に感動を与えました。

特に、バレーボールを通して出会った指導者や多くの仲間の応援に感謝すると同時に、今、スポーツに打ち込んでいる子どもたちへのメッセージとして、「夢を諦めないうでがんばれば必ず結果は付いてくる」と、スポーツに対する熱い思いを語っていました。

平成23年度スポーツ少年団・学校交流会は、1月28日(土)稚内全日空ホテルを会場に、少年団指導者をはじめ、団員の父母、小中高校教職員のほか行政関係者などおよそ110人が集まって行われました。



① 市民フットサル大会 (2月4・5日: 総合体育館) ② 市民3on3バスケットボール大会 (2月18日: 総合体育館) ③ 市民9人制バレーボール大会 (2月19日: 総合体育館)

一口メモ

●猪木ボンバイエ!

プロレスラーのアントニオ猪木のテーマ曲「イノキ・ボンバイエ」のボンバイエとは、コンゴ民主共和国で使われているリンガラ語で「彼を倒せ(Bomaye)」と言う意味。

このテーマ曲は、プロボクサーのモハメド・アリから贈られたもの。
(スポーツの雑学集から引用)

掛金は値上がりしますが加入してスポーツを楽しみましょう

5人以上のスポーツ・文化・地域・ボランティアの活動に適用される、『スポーツ安全保険』の掛金が、平成24年4月1日から値上げされます。

万が一の事故やケガに備えて、様々な活動をサポートする『スポーツ安全保険』に加入してスポーツを楽しみましょう。

保険の内容

- ◇対象事故: 団体・グループ活動中や活動場所への往復中の事故
- ◇保険期間: 平成24年4月1日午前0時から平成25年3月31日午後12時まで
- ◇加入手続き
 - 加入依頼書は市内体育施設窓口へ備え付けています。

- 平成24年度(2012年度)専用以外の加入依頼書は使用できません。
- “北洋銀行”で振り込む際の手数料は
- ◇掛金合計 3万円未満...210円
- ◇ " 3万円以上...420円
- ※“北洋銀行”以外の金融機関で送金(振込み)される場合は、加入依頼書の「説明」を参照ください。
- ◇問い合わせ: 体育協会事務局へ

加入区分・掛金・補償額 掛金が改正されましたのでご注意ください。入院・通院について治療日数1日目から補償されます。※障害保険の入・通院保険金は医療費の実費ではなく、下表のとおり1日当たりの定額保険金が支払われます。

加入区分	年間掛金(一人当たり)	対象範囲	傷害保険金額				賠償責任保険支払限度額(免責金額なし)	突然死・葬祭費用保険支払限度額
			死亡	後遺障害(最高)	入院(1日につき)	通院(1日につき)		
A1	800円	団体活動中とその往復中	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	突然死(急性心不全・脳内出血など)葬祭費用180万円	
AW	1,450円	上記以外	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	突然死(急性心不全・脳内出血など)葬祭費用180万円	
A2	800円	団体活動中とその往復中	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	突然死(急性心不全・脳内出血など)葬祭費用180万円	
C	1,850円	団体活動中とその往復中	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	突然死(急性心不全・脳内出血など)葬祭費用180万円	
AC	1,300円	団体活動中とその往復中	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円	突然死(急性心不全・脳内出血など)葬祭費用180万円	
B	1,000円	団体活動中とその往復中	600万円	900万円	1,800円	1,000円	突然死(急性心不全・脳内出血など)葬祭費用180万円	
D	11,000円	団体活動中とその往復中	500万円	750万円	1,800円	1,000円	突然死(急性心不全・脳内出血など)葬祭費用180万円	

短期スポーツ教室の加入区分(教室ごとに5名以上でご加入ください。) インターネット(スポ安ねっと)をご利用になれない場合は、上記一般団体の加入区分でご加入ください。

加入区分	年間掛金(一人当たり)	対象範囲	死亡	後遺障害(最高)	入院(1日につき)	通院(1日につき)	賠償責任保険支払限度額(免責金額なし)	突然死・葬祭費用保険支払限度額
短期スポーツ教室	600円	団体活動中とその往復中	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	突然死(急性心不全・脳内出血など)葬祭費用180万円	

われらスポーツ家族の輪

家族でスポーツに取り組み、楽しんでいられるスポーツ家族の輪をつないでまいります。

今号では、前号の「佐藤郁男」さんから紹介のあった「市川裕幸さん一家」です。

市川 裕幸さん一家 (敬称略)

裕幸(ひろゆき) 幼少時から剣道をしていたが、小学5年生からは野球少年団に入団、中学、高校と一環して野球に没頭し、小・中・高校ともに好成績を収めたことをアピール。最近では、野球で培った強肩を活かして雪合戦にも関わり、昭和山国際雪合戦でベスト8の実績も、ちよっぴり自慢。

妻・恵美(めぐみ) 小学校から現在までバドミントンを続けているが、これと言った実績は無いものの、中学生時代に合唱部に入っていたので歌は旨いと、本人は言う。

長女・美咲(みさき) バドミントンスポーツ少年団で大会出場を目指して練習している。日増しに上達して、少年団でもこれからの活躍が期待されている。

次女・さくら お母さんとお姉さんの影響で、小学2年生になった今年からエンジェルバドミントンスポーツ少年団に入団している。体を動かす楽しさを知り、家族全員でバドミントンを楽しむ日も近い。

裕幸さんからのコメント 高校卒業と同時に、市民の命と財産を守る消防署に勤務する傍ら、仲間と野球を楽しんでいます。子どもたちには、心身の健康のためにもスポーツに親しみ、続けて欲しいと願っています。